

前期生徒総会大成功!オンラインで結ぶ絆

今年度より関屋中学校でもICT教育（タブレット端末やインターネットなどの情報通信技術を活用した教育）が、授業はもとより朝の健康観察などの諸活動で始まっています。

先日（5月20日）に行われた生徒総会は、各教室のテレビと生徒総会の議事進行を進める場所のタブレットをオンラインで中継して行われました。コロナ禍ということもあって全校集会の形はとることができなかったのですが、全校生徒の絆を最新の通信技術で繋ぐ画期的な生徒総会となりました。



生徒総会を終えて

生徒会長 飯原 真帆



タブレット端末を活用し、初の試みとなるオンラインでの生徒総会を実施しました。実施してみると、その良い点と課題の両方を見つけることができました。まずオンライン生徒総会の良かった所は、例年以上に生徒が意見を言いやすくなった点です。今までは体育館に全校生徒が集まるため、発言者に注目が集まり発言するのも勇気がいったと思います。特に初めて参加する1年生は意見が出しにくかった様子うかがえました。

しかし今回の生徒総会では、テレビ画面上で映し出された本部側と各教室がオンラインで結ばれたことによって、質問者と返答する人とのやりとりが緊張することなく行われ、1年生から3年生まで活発に意見交換をすることができました。

ただ課題が残ったことも事実です。それは、タブレット機能の操作を生徒自身が円滑に進められないことです。今回は、リハーサルから総会当日に至るまで、ICT支援員の方々からサポートしていただきながら準備をしてきました。そのお陰もあって、総会は大きな問題もなく議事を進行することができました。その支援員の方々のサポートに感謝を感じながらも、次回は自分たちのスキルも高める必要があると感じました。

今後の生徒会でも、これまで通りのアナログな方法と新しいデジタル機器の両方の良さを取り入れ、コロナ禍でも充実した活動にしていきたいと考えています。ご協力お願いします。